☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０１９

丹波新聞　令和２年１月１９日（日）

地域課題をビジネスに

氷上西高生　生徒がプラン発表

身近な課題をビジネスにして解決しようと、氷上西高校で16日、生徒が考えたビジネスプランの発表会があった。商業科目を選択する3年生17人が、廃校活用や高齢者の代行サービスなど、グループごとに考えた内容を披露し、丹波市や市商工会の職員から運営方法や収支計画の立て方などでアドバイスをもらった。

同科目の3年生は昨年、若者の創業精神を養うことを目的とした「高校生ビジネスプラン・グランプリ」（日本政策金融公庫主催）に応募。入選はならなかったが、今回、地元の行政や商工会に披露し、〝プロの目線〟からの意見を求めた。

青垣地域の廃校を宿泊施設として活用しようと考えたグループは、同地域ならではの特色を出そうと、パラグライダーやアマゴのつかみ取り、ホタル観賞などを堪能できるプランを提案し、「宿泊しながら楽しんでもらいたい」と発表。客数が伸びない冬場は校庭をドッグランにし、専門学校と提携してトリマー実習として学生を呼び込むことなどを提案した。商工会職員からは「プレスリリースなど、広告面での工夫を充実させると効果的なプランになる」などとアドバイスを受けた。

市内に訪れたバイクライダー向けの特産物販売などのプランを提案した谷川竜輝君は、「具体的な内容を詰めていく過程が難しかった。今のところ起業は考えていないけれど、今回の学習が今後の役に立ちそう」と話していた。

自分たちで考えたビジネスプランを発表する生徒＝青垣町佐治で